



## 第3回 学校説明会 ⑦



特色4

こころ・感謝

(学校設定教科)

### 『青春と真ん中の毎週1時間』

昨日の第13号の締めくくりに書いたこのフレーズに対して、とってもうれしいレスポンスを頂きましたので、もう少し、「こころ・感謝」についてのお話を続けることにしました。

右のスライドには、今年度の高校1年生についての内容が書かれています。感想文から、抜粋したものです。こんな学びを重ねている高校生は、石川県内にどれだけのいるのでしょうか。そんなことも、あんまり知られていないことの1つなんですね。



金沢龍谷高等学校 中部部

第3回 学校説明会

## 特色ある教育課程について

### こころ分野(計30時間)

- ・浄土真宗本願寺派の宗門校ならではの特色ある授業
- ・高等学校「こころ・感謝」を基礎に中部部版としてブラッシュアップ
- ・【自らの内面と向き合い、よりよく周囲と関わり生きる智慧】を思索する。

### カリキュラム例【2022/高1】

- \* 出会いの中の私
- \* 自己受容と他者受容
- \* 「聴くこと」を考える
- \* 私をどう伝えるか
- \* いのちの不思議
- \* 家族の大切さ
- \* 親への手紙

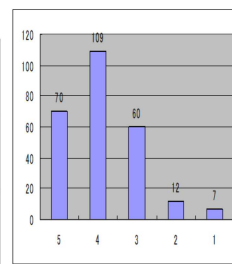
### 生徒の感想文から 令和4年度前期 高1「こころ・感謝」

- \* クラスの友達と一緒に活動する場面が多かったですが、**人と協力することは大切だ**と改めて感じました。
- \* 最初は何をしている授業なのかわからなかったが、**他者に自分の思いを伝えることの大切さ**を学んだ。
- \* 何かの知識を得たというよりも、**価値観**というか**物事の見え方が変わった**気がします。
- \* 道徳に似た感じなのかなと思いましたが、ゲーム要素があったり、クラスの友達と仲良くする場面があって、うまく話ができるようになった。**大人に近づくためにアサーションスキルが必要だ**と感じた。



13 自分が生きていくうえで大切にしたいと思うことを学べた。

	5	4	3	2	1
人数	70	109	60	12	7
学年 %	27.1 %	42.2 %	23.3 %	4.7 %	2.7 %



左の写真は、2006年のもので、「こころ・感謝」の授業で、『ブラインドウオーク』をしている写真。

そしてその横にあるのは、その年の高1対象の授業アンケートです。

歴史があるんです。



宗門校の教頭になって17ヶ月がたちました。親鸞聖人の教えをちょっとずつ学んでいるのですが、なかなか進みません。が、とにかくまずは『歎異抄』に向き合うことにしました。梅原猛先生の現代語訳を、不定期に紹介したいと思います。

### 『歎異抄 第1条』

阿弥陀さまの不思議きわまる願いに助けられてきっと極楽往生することができると信じて、念仏したいという気がわれらの心に芽生え始める時、その時すぐに、かの阿弥陀仏は、この罪ぶかいわれらを、あの輝かしき無限の光の中に収め取り、しっかりとわれらを離さないのです。その時以来、われらの心は信心の喜びでいっぱいになり、われらはそこから無限の神神の利益を受けるのであります。阿弥陀さまの衆生救済にお願いは全て平等であり、老いたる人を若き人より、善人を悪人より優先的に救おうなどと言う事はありません。ただ信心が肝心なのです。信心さえすれば、どんな人でも阿弥陀さまは救ってくださるのです。というのは、阿弥陀さまの本来の願い

は、この罪ぶかく、心に様々な煩惱を抱くわれらのごとき衆生を助けようとするためだからであります。それゆえ、この阿弥陀さまの本願を信じるためには、他の善をなす必要は毛頭ありません。ただ念仏すればいいのです。念仏以上の善は他にはありませんから。また、あなたがかつてなしたであろう悪業や、いま現にこれからするであろう悪業を恐れる必要はありません。この阿弥陀さまの本願を妨げる以上の悪はありませんから。